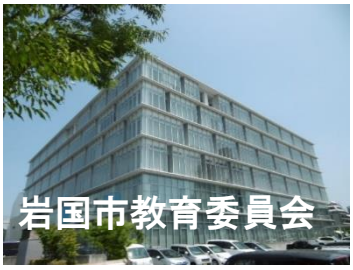
2024(令和6)年度　第10号　　岩国市教育委員会 生涯学習課
地域連携教育だより　　いわくに地域連携教育アドバイザー
大上好久
岩国市ＨＰ

# つ な が り

令和6年9月1日発行　　Tel:29-5210　Fax:21-3456




二次元コードから閲覧可能です。

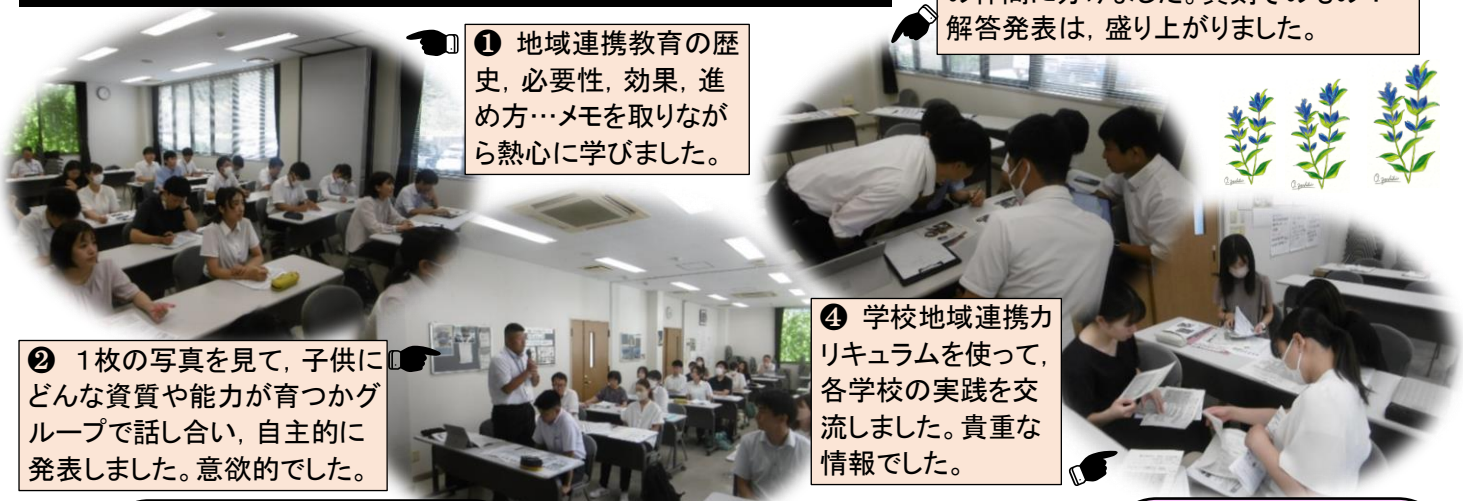
## そ～だったのか 地域連携教育!?

文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が，平成27年12月の答申で，“学校と地域の連携・協働の必要性”を次のように示しています。

「学校は，全ての子供たちが自立して社会で生き，個人として豊かな人生を送ることができるよう，その基礎となる力を培う場であり，子供たちの豊かな学びと成長を保障する場としての役割のみならず，地域コミュニティの拠点として，地域の将来の担い手となる人材を育成する役割を果たしていかなければならない。一方，地域は，実生活・実社会について体験的・探究的に学習できる場として，子供たちの学びを豊かにしていく役割を果たす必要がある。」

本号では，岩国市教育委員会が，これからの教育を担う採用2，3年目の教職員を中心に行った“地域連携教育研修会”での受講生の声を中心に紹介します。

### 地域連携教育の魅力や可能性を学んだ 岩国市夏季研修講座



❶ 地域連携教育の歴史，必要性，効果，進め方…メモを取りながら熱心に学びました。

❷ 1枚の写真を見て，子供にどんな資質や能力が育つかグループで話し合い，自主的に発表しました。意欲的でした。

❸ 8枚のいろいろな活動の写真を 6つの仲間に分けました。真剣そのもの！解答発表は，盛り上がりました。

❹ 学校地域連携力リキュラムを使って，各学校の実践を交流しました。貴重な情報でした。

少し取っ付きにくい印象があったが，受講後はやってみたいという気持ちが一番にくる程，地域連携教育の印象が大きく変わった。ユーモアを交えたお話や参加者同士の情報共有が多くあり，他校の取組を学ぶことができた。

どこの学校も，地域連携教育が業務負担であるという先生方の感覚があることが分かった。既存のものに地域の方に関わっていただくなど，地域が関わることで，より効果的なもの，業務軽減につながるものに変えていけるような視点で連携したいと思う。

地域連携について今回学んだことを生かし，子供が何年たってもいつか戻ってきたくなるような魅力的な地域づくりや，思いやりのある人づくりなどが必要なのだという認識を持って，子供に接したいと思った。

子供たちの教育には，どこか一つの組織だけが担当するのではなく，多様な組織が連携して行うことが重要なのだと改めて実感した。負担軽減だけでなく，色々な知識や技能を持った人が協力することで，新たな発見をし，多様な資質・能力を大人も子供も身につけることにつながると思った。自分たちの学校でも，積極的に地域連携を図り，子供の成長に繋げていきたい。

地域連携教育について，正直，教員のしがらみが増えるものという印象を持っていた。しかし，今回の研修で学校の困り感を地域が解決してくれる事例も知った。うまく活用することで，学校課題を解消しながら，子供たちに豊かな能力を身につけさせることが可能になると感じた。これからは「地域住民と教師の共通の願いや思いから生まれる地域学校協働活動」を目指したいと思った。

「つながり」は，強制すると「面倒くさく」なるし「こじれる」と言われています。これらを乗り越えるには，「楽しさ」「面白さ」「問題や課題の共有」が必要です。子供の今と10年先・20年先の幸せのために，学校と地域が手を携えることで，共に楽しさや喜び，心地よさが感じられるものを一緒につくっていきたいものです。